

食料品の値上げと金融政策等の行方

主任研究員 古江晋也

1 4か月連続プラスとなった実質賃金

厚生労働省が公表した2026年4月の毎月勤労統計によると、現金給与総額(速報値、事業所規模5人以上)は前年比3.5%増と、52か月連続でプラスとなった。実質賃金(速報値)は同1.9%増(消費者物価指数・総合で計算した場合は同2.1%増)と、4か月連続でプラスとなった(第1図)。要因としては、現金給与総額の増加に加え、私立高校授業料や公立小学校の給食費の実質無償化、さらにはガソリン暫定税率の廃止や政府によるガソリン補助の再開など、政府の経済対策に伴う消費者物価上昇率の鈍化が重なったことがあげられる。

消費関連指標では、日本百貨店協会が公表した26年4月の全国百貨店売上高が、前年同月比5.2%増と4か月連続でプラスとなった。インバウンド(免税売上)は円安の影響もあり、同18.3%増と、2か月連続でプラスとなった。国内売上は、春物衣料品や雑貨が好調だったことや、高額品の動きも活発であった

ことから、同3.7%増と、9か月連続でプラスとなった。

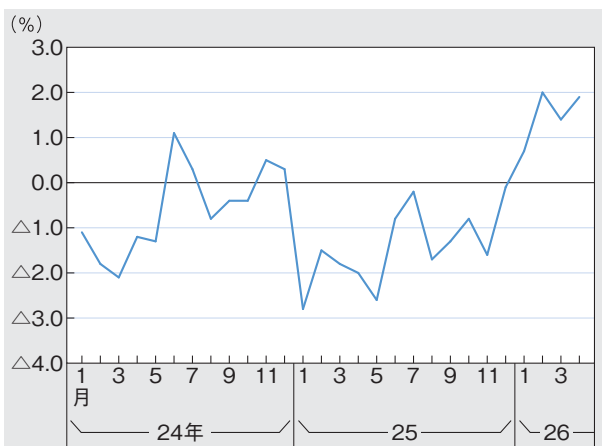
総務省が公表した26年4月の家計調査では、2人以上世帯の消費支出(実質)が前年同月比0.5%減と、5か月連続でマイナスとなった(第2図)。節約志向の影響もあり、食料は同0.6%減と、3か月連続でマイナスとなった。穀類(同4.8%減)、野菜・海藻(同2.7%減)、飲料(同3.6%減)などが減少した。

2 包装資材高騰などによる食料品の値上げラッシュ

総務省が公表した26年4月の消費者物価指数(総合)は、前年同月比で1.4%上昇した。食料は同3.5%の伸びとなった(第3図)。学校給食(小学校)は、公立小学校の給食費の実質無償化により、同98%減となった。なお、高等学校授業料(私立)は私立高校授業料の実質無償化の影響により、同68.8%減となった。

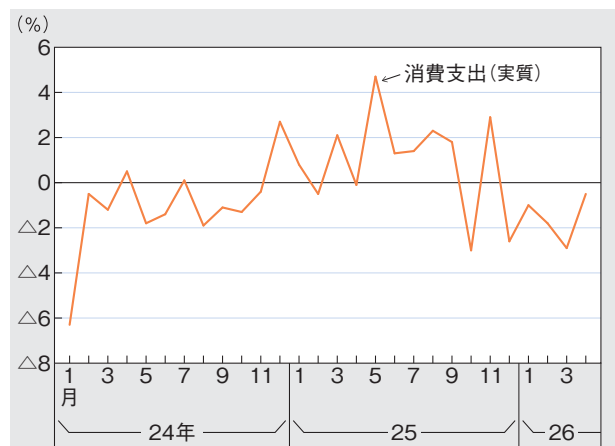
第4図は、26年4月時点の消費者物価指数

第1図 実質賃金指数の推移



資料 厚生労働省「毎月勤労統計」前年同月比 26年4月は速報値

第2図 2人以上世帯の消費支出の実質増減率の推移



資料 総務省「家計調査」前年同月比

(全国、品目別価格指数)のうち、前年同月比で20%以上上昇した主な食料品目の推移を示したものである。もち(同35.9%)、ほたて貝(同25.7%)、チョコレート(同21.6%)、インスタントコーヒー(同20.2%)、コーヒー豆(同46.8%)などが大幅に上昇した。

2月末からの中東情勢の混迷を受け、物流費や包装資材などが高騰したことから、食料品メーカー各社は値上げなどに踏み切った。帝国データバンクが5月29日に公表したレポート(「食品主要195社」価格改定動向調査)によると、6月の飲食料品の値上げは1,078品目に上ったという。値上げラッシュは今後も続くと思われる。また、印刷インクの調達の不安定化などを受け、製菓大手カルビーは5月

12日、一部商品のパッケージ仕様を見直す(印刷インクの色数を白黒の2色に変更する)ことを発表するなど、各社とも対応に追われている。

日銀が発表した26年5月の企業物価指数(速報値)は、前年同月比で6.3%の上昇となった。

3 金融政策等の動き

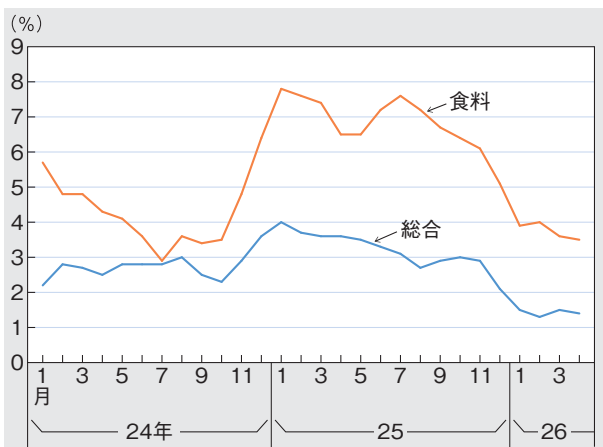
米連邦公開市場委員会(FOMC)は4月29日、政策金利であるフェデラルファンド金利の誘導目標を3.5%~3.75%に維持することを決定した(据え置きは3会合連続)。この決定に対しては4人の理事が反対票を投じた。1人は利下げを主張した一方、他の3人は声明に将来的な金融緩和姿勢が盛り込まれたことに反対したものである。5月22日には、ケビン・ウォーシュ氏がFRB議長に就任した。こうしたなか、米雇用統計(5月)は、労働市場が堅調であることを示す内容であったことから、利上げ観測が高まった。

4月28日に開催された日銀金融政策決定会合では、政策金利の誘導目標を0.75%に据え置くことが決定された(据え置きは3会合連続)。なお、この決定に対しては、物価の上振れリスクの高まりを理由に、3人の委員が反対した。6月3日、東京都内で講演した植田総裁は、6月に開催される日銀金融政策決定会合における利上げの可能性を示唆した。

一方、食料品の消費税減税の議論が活発化する中、高市首相は6月中にも最終判断を行うと報じられた。報道ベースでは、27年4月から1%とする案が政府内で有力視されているとされるが、生産者や外食業界に与える影響についても注視したい。

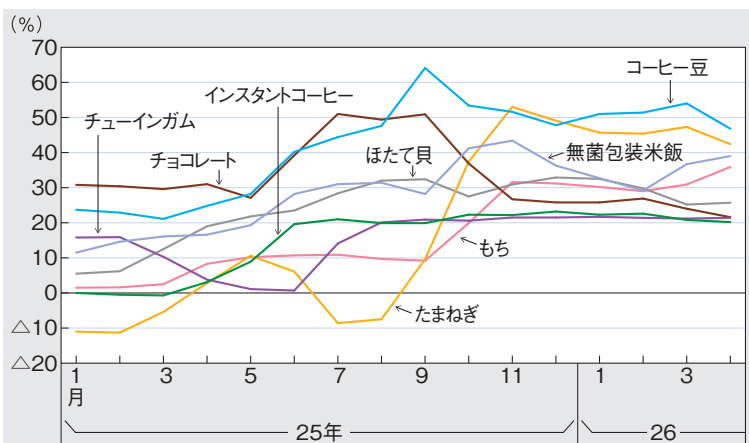
(ふるえ しんや)

第3図 消費者物価指数の推移(全国)



資料 総務省「消費者物価指数」前年同月比

第4図 消費者物価指数の推移(全国、品目別価格指数)



資料 第3図に同じ